

企業概要

本 社 佐賀県佐賀市北川副町光法 1777-10

設 立 1968年9月25日

資本金 5,000万円

代表者 代表取締役社長 寺田 和弘

従業員数 70名

業 種 食品製造業

事業内容

- ・乾海苔産地問屋
- ・各種海苔加工
- ・乾椎茸卸売



企業HP



脱炭素経営の背景とスローガン

■ 脱炭素経営のきっかけ・背景

有明海の海苔はここ3年不作が続いています。栄養分が少なく、色味も悪く甘味や旨味も少ない状況です。その原因は雨量の変化や土砂災害などの気候変動です。山で土砂崩れが起こり、それが筑後川に流れ込むことも発生しています。そのような状況でメーカーとして少しでも何か取り組まなければいけないと思ったのが脱炭素経営を始めたきっかけです。

代表取締役社長 寺田 和弘



■ GXスローガン

生産者と共に佐賀の未来をつくる。

このスローガンは、「佐賀海苔 一流浜」のコンセプトとしても使っています。

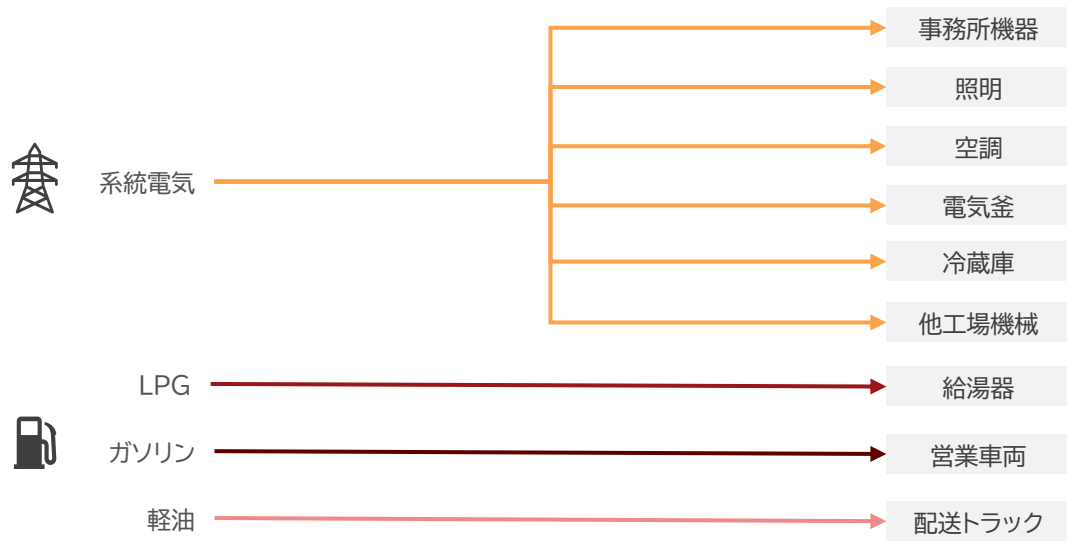


スローガンは、3にこだわる海苔ブランド「佐賀海苔 一流浜」のコンセプトとして掲げています。「鮮度」「焼きたて」「食べ方」にこだわった商品で、種網より最初に摘まれる一番摘み海苔です。味が濃く、甘味・旨味があり、とろけるような口溶け。淡水と海水がぶつかり合う栄養豊富な大詫間支所の漁場で育てた稀少な一番摘みの佐賀海苔です。

エネルギー使用状況の可視化

■ エネルギーフロー図

当社では、工場におけるエネルギー源はすべて電気であるため、電気の消費量が多くなっています。当社で保有する車両では、ガソリン、軽油を使用しています。

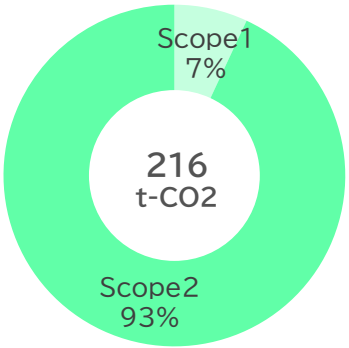


■ 自社排出量の内訳

2023年度の自社活動によって排出された温室効果ガス量の合計は216トンでした。これは、杉の木のCO2吸収量/年に換算すると15,336本分になります。

当社のGHG排出量内訳は、自社で使用する燃料由来のCO2排出量(Scope1)が15t-CO2、他社から供給された電気・熱使用由来のCO2排出量(Scope2)が201t-CO2です。

電気釜をはじめとした工場における電気消費に起因する排出が9割以上を占めています。



部門	エネルギー種別	年間使用量	CO2排出量
Scope1	ガソリン	4.2 kL	9.7 t-CO2
	LPG	1.6 t	4.8 t-CO2
	軽油	0.1 kL	0.4 t-CO2
Scope2	電気	467,000 kWh	201 t-CO2
合計			216 t-CO2

自社GHG排出量の削減に向けた取組

削減計画の策定

削減の流れ

電化
燃料転換

- ・ガソリン車のEVへ切替

省エネ

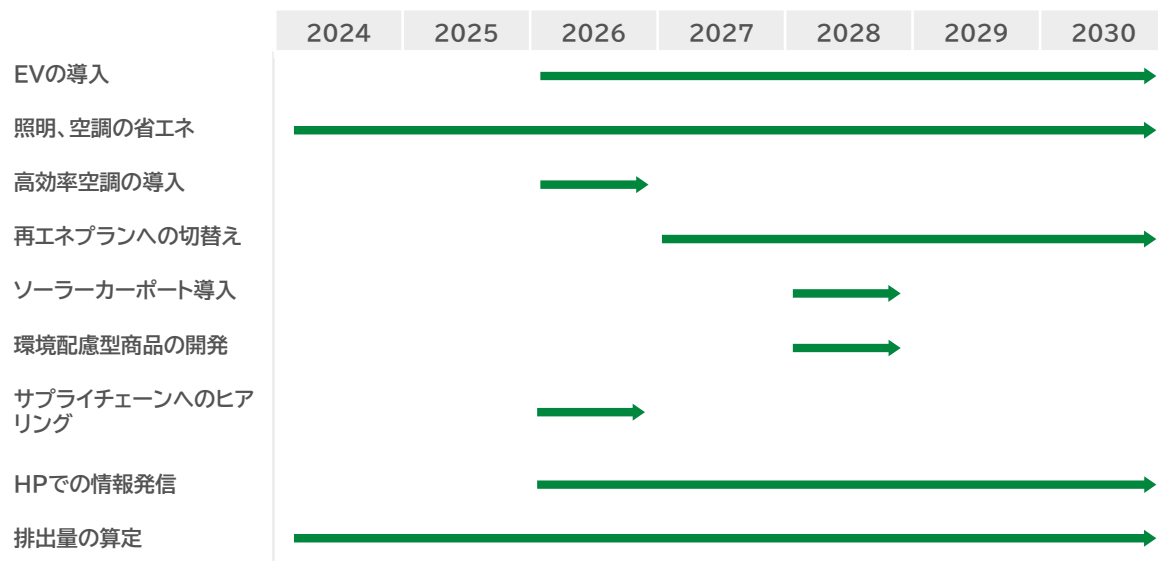
- ・照明、空調の省エネ
- ・高効率空調の導入

再エネ化

- ・ソーラーカーポートの導入
- ・電力再エネプランへの契約切り替えを検討

オフセット

削減目標：2030年度までに42%削減(2022年度比)



実施施策のご紹介

太陽光発電設備の設置・自家発電



すでに社屋の屋根には太陽光発電設備を設置し、再エネ電力を自家消費しています。今後は駐車場スペースも活用しソーラーカーポートを設置することを検討しています。

EV導入



現在保有している車両情報からランニングコストを試算し、EV化による効果の高い車両を特定しました。費用対効果の良いものから順次EVに切り替え、再エネ電力で充電することにより排出量削減を図ります。

電気使用の運用改善

現在は工場の稼働開始の朝一番と、お昼休憩が終わった午後一番に急に使用量が増えています。機械の立ち上げをずらす等の運用改善を行います。

デマンドコントロール

電力の使用量を分析することで、夏のお昼にデマンドのピークが立っていることがわかりました。デマンドコントローラーを設置し、デマンド値が一定のラインを超えないよう制御します。

サプライチェーン全体での取組

環境配慮型商品の開発

工場をゼロカーボン化する取り組みを通じて、大手メーカーへの提案型OEMを進めています。この取り組みでは、再生可能エネルギーを活用し、CO2排出を大幅に削減することで、環境に優しい製品を提供します。環境負荷の削減を通じて、企業のブランド価値を高め、市場での競争力を高めます。さらに、大手メーカーとの協力を強化することで、新たなビジネスチャンスを創出したいと考えています。

生産者への呼びかけ

今回自分たちでも排出量算定や削減計画を策定したことにより、知識をつけることができました。今度は海苔業界全体で排出量を下げていく努力をしていきたいです。例えば重油1L使用することによりどれだけのCO2が排出されるのか、海苔生産関連のどのような活動から多くのCO2が排出されるのかなど、情報提供を行なっていきたいです。

中小企業版SBT認証

中小企業版SBTを取得しました！

当社は、温室効果ガス削減のための科学的根拠に基づく目標を掲げ、「中小企業版SBT」を取得しました。



SBTとは？

SBT(Science Based Targets)とは、企業がパリ協定の目標(1.5℃目標)に沿った温室効果ガス削減目標を設定するための国際的な枠組みです。



玉喜の目標

基準年度 2022年度

目標年度 2030年度

目標削減率 42%

目標年度排出量 155.4t-CO2

開示目標の達成に向け、削減計画を実行していきます。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION